

氏名（国内所属校）： 森下 理奈 （尾道市立土堂小学校）
現地勤務先：カンボジア、バタンバン州小学校教員養成校

カンボジアの小学校と日本の小学校



学校へ行くとき

道に広がっているこの動物は、やぎです。道ばたの草を食べている牛や馬にもよく出会います。堂々と道を独占する動物たちをよけながら、人々は通勤、通学を急ぎます。

小学生は、徒歩か自転車通学、また家の人にバイクで送ってもらう子が多いです。田舎では、雨季になると泥の道がぐちゃぐちゃになり、学校へ行けない子もいます。

授業

朝7時から始まり、午前中に5時間授業があります。2部制の学校では、午前と午後で子どもも先生も入れ替わります。

私の活動先の付属小学校は1部制なので、家でお昼ご飯を食べた後、午後からも同じ子どもたちが来ます。午後からは復習が中心で、補習塾のような感じです。子どもたちは制服から私服に着替えて来て、先生には毎日授業料を払います。

田舎に行くと3部制の学校もあります。一日3時間しか授業が受けられません。



チャイム

授業や休憩の合図は、このカネの音です。当番の児童が時間になるとカンカンと鳴らします。のどかでいいですね。のどかでいいですか？

学校に電気や水道がないこととはどういうことか、ちょっと想像してみてください。図工や音楽、理科の時間、天気が悪いとき、掃除のとき、水やりのとき、怪我をしたとき、トイレに行ったとき・・・。



個人でもっているもの

教科書は個人に配布されるわけではなく、学校からの貸し出しです。1年間大事に使った後、返します。お道具箱セット、算数セット、絵の具セット、習字セット、裁縫セット、鍵盤ハーモニカにリコーダー……。日本では一人一つずつ個人のものが与えられることが、当たり前のようになっていますね。自分の物を使って学習できるのはすばらしいことです。教えやすく、学びやすく、一生使い続けることもできます。

でも、卒業後にそれらを活用している人はどれくらいいるでしょう。全てを個人で所有することが本当に必要なのかな、と少し疑問に思います。

教科

国語、算数、理科、社会、体育、外国語（４年生以上）を学びます。日本でいう音楽や図工、家庭科、道徳などは全て「社会科」に含まれています。

前号にも書きましたが、日本と同じ教科名でも、日本と同じ内容を学ぶわけではありません。例えば「図工」では、正確に手本を写すことが中心です。私は、はじめ「正確に写すことが図工なの？自由に描いたり、自由に作ったりすることは許されないの？」と疑問を感じました。

しかし、考えてみると日本人の私が「図工」とみるから違和感があるだけで、「カンボジアの図工」は日本でいう国語の中の「書写」のような位置づけかなと、ふと思ったのです。

国語では、物語や説明文を読んだり、作文や日記を書いたり、様々な学習をします。それぞれに学習のねらいがあり、中心は文字の正確さではありません。でも「書写」では、文字の正確さが求められます。「カンボジアの図工」は「書写」、そう思うようになってからは、「カンボジアの図工」に当初のような疑問を抱かなくなりました。

しかし、最近では、やはり「カンボジアの図工」にも「書写」の部分だけでなく、クレヨンや絵の具を使ったり、大きな画用紙に心の赴くままに絵を描いたり、自由な発想で工作したりする時間もあつたらいいのにな、と思うようになりました。そう思うようになった理由はいくつかあります。

- ・ 「好きなものの絵を描いて」というと何も描けない子。
- ・ 授業で“写したことの無い”絵は、「描けない」と言う子。
- ・ 「大きく描いてね」と言っても、隅に2～3センチの小さい絵しか描けない子。
- ・ 街で売られている個性のない絵（アンコールワット、田園風景）。
- ・ 画一化されて変化や工夫のない家具や文具、日用品。

そして、

- ・ クレヨンや絵の具を使った作品づくりをするときの、学生たちの無邪気な笑顔や真剣なまなざし。
- ・ お祭りの屋台（白い置物に自分で絵の具で色を付ける店）での子どもや大人の熱中した姿。

こういったカンボジア人の姿や生活を見ていて、「日本の図工」のよさや意義などを感じたわけです。とはいえ、時間は限られています。「日本の図工」をカンボジアの小学校に導入しようとしたら、何かの時間を削らなくてはなりません。限られた義務教育の期間で、全ての人が優先して学ぶべき事柄は何か。

カンボジアの小学校では、「毒を持つ食物や不衛生な環境の危険性、地雷の危険性、エイズや狂犬病、マラリアやデング熱など命に関わる病気の危険性」についても学びます。今のカンボジアでは、今のカンボジアで「必要なこと」を教えています。ただ、私は、「必要なこと」のなかに、“命を守る”学習と同等に“幸せに生きる、楽しく生きる”ための学習が含まれたらいいのにな、と思うのです。

今の日本も、今の日本で必要だと思われることを教えています。それは固定されたものではなく時代によって変化しています。最近では、英語、国際理解、情報、環境、福祉、食育、郷土の文化などが注目を集めていますね。国語力低下や理数科離れへの懸念から、既存の教科も充実が求められます。命の大切さ、人間関係、社会規範など、心の教育も期待されています。

“学校で”全ての人が学ぶべきこと、身に付けるべきことは何なのでしょう。時間は限られています。みなさんが新しくカリキュラムを作るとしたら、どんな教科が今の日本に必要なだと思いますか？